

# あいあいあい

2011年8月22日号

生活協同組合  
coop あいコープみやぎ

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会  
〒993-0035 仙台市宮城野区日の出3丁目4番17号  
TEL022-284-7241 FAX022-294-6373  
http://www.mamma.coop

## 9・19 さようなら原発 バスツアー参加者募集!

9月19日(月曜・敬老の日)の「さようなら原発 1000万人アクション」に  
貸切バスで一緒に行きませんか。みんなで「脱原発」の意思表示をしよう!

★9/19 夜中1時 仙台駅西口バスターミナル集合 いざ東京へ  
10時～ 阻止ネット「脱原発宣言」集会に参加(日本教育会館 at 千代田区)  
13時半～ さようなら原発 1000万人アクション  
明治公園 5万人集会～都内パレードに参加  
17時頃 東京出発 → 23時頃 仙台着(予定)  
参加費5千円/人(中学生以下無料) お申込お問合せ0120-255-044(多々良)

## あいコープみやぎ 放射能自主測定活動について

① あいコープでは右図のような放射能自主測定の体制を作り、6月下旬からホームページでデータ公開を始めました。すでに8/9現在、あいコープでの一次モニタリング結果64件、検査機関での検査結果60件、生産者から提供された検査結果42件、合計166件を公開しており、今後どんどん増えていきます。実際に組合員の皆さんにお届けするのと同じ食品そのものを、できるだけ数多く測り、その結果はすべて正直に、速やかに公開する。このことが大切と考えています。お届けする食品の生産地、生産者が特定できるあいコープだからこそ出来ることです。

② 一次モニタリングは「ふるいに掛けて、汚染の疑いのあるものを発見する」ことを目的としており、測定数値を出すことが目的ではありません。が、これまでの結果から約100Bq/kg程度の汚染は検出することができ(1cpsがおおよそ100Bq/kgに相当)、これ以上の汚染のものは「ふるいに掛ける」ことができると考えています。実際7月に一次モニタリングで「丸エビ倶楽部の干し椎茸」の汚染を検出し、即座に供給を停止しました。あいコープの一次モニタリングが有効に機能した例と考えています。

③ セシウム汚染が問題となった牛肉をはじめ、豚肉、鶏肉、卵などはあいコープが、牛乳は生産者が検査機関に依頼して精密検査を行っており、すべて「検出せず」であることを確認しています。また飼料の調査も行っており、3・11後に収穫されたり屋外放置された、問題

生活協同組合 あいコープみやぎ 放射能自主測定活動

あいコープみやぎでの一次モニタリング  
農産物・畜産物・水産物・土壌

公的検査機関での測定  
利用の多い商品(農畜産物)

生産者 自主的測定

一次モニタリング値が目安を超えたもの  
検査機関での二次モニタリング

検査機関での測定結果はすべて公開  
毎回の測定結果を公表するものだけでなく、定期的に検査機関へ依頼して精密検査を行なっています。

検査機関へ結果を報告

のある餌は与えていないことを確認しています。これからも、汚染の可能性が高い品目や利用の多い農畜産物などは、専門の検査機関に依頼して精密検査を行なっていきます。

④ これから収穫の秋を迎え、一番大きな問題は、毎日の主食である「お米」です。さらには小麦や大豆などです。今秋に収穫される米、小麦、大豆などの検査体制、それらを使った加工食品の調査と検査体制をしっかりと作り、組合員の皆さんに確かな情報をお伝えできるように努めてまいります。

(専務理事 多々良哲)

あいコープみやぎ 8月22日現在  
三陸大学・経済学・水産資源学  
9/5(木) 勝川俊雄氏講演会  
「海の放射能汚染を考える」 会場: 仙台市社会館 時間: 10:00~12:00

9/30(日) Wa!わ祭り 会場: 仙台市アース  
9/11(日) 会場: 未定 時間: 13:00~16:00  
「村田町の有機農家さんを囲んで」  
お申込み・お問合せ cafebunbun@gmail.com

## 生産者支援金についてのご報告

皆様からご協力いただいた生産者支援金は、合計8,937,400円となりました(6月末現在)。ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。支援金はすべて被災した生産者へ、復旧・復興の資金としてお届けします。理事会では、生産者の損害状況や再建計画などから、当座の生産再開のために最も有効に支援金を使っただけの先を検討し、次の通りお届けすることといたしました。8月中旬に理事会が訪問して手渡します。

- 七郷みつば会 200万円 (精米設備の復旧)
- 高橋徳治商店 200万円 (工場の仮ラインの設置)
- 大郷みどり会 200万円 (冷蔵庫等設備の復旧)
- 鎌田醤油 150万円 (仕込設備・タンク等の復旧)
- 花見園 100万円 (養鶏場の復旧)
- 趙さんの味 50万円 (工場生産設備の復旧)

今後のあいあいあい、生産者からのメッセージや再建へ向けた動きなどをお伝えしてまいります。

# 原発に頼らない社会

◆◆原発を止める社会へ 講師 首都大学東京教授 宮台真司氏 ◆◆

8月3日エルパーク仙台セミナーホールにて、社会学博士の宮台真司さんを迎え「原発を止める社会へ」の学習会を行い100人を超える参加者がありました。

日本人の多くは、国（行政官僚制）への依存、資本（大企業）への依存、マスコミへの依存、政府発表への依存など大きなものへの盲目的な依存をしている。また、「今更やめられない。」「空気にあらがえない。」といった「悪い共同体」の「悪い心の習慣」が先の敗戦から何も変わってないと宮台さん。いつまでも「任せて、ぶっ垂れる」依存体質では、何も変わらない。原発たたき・東電たたきに転じ、今の状況をネタとして消費しているメディアに踊らされることなく、国や電力会社に「もっとちゃんとやれよ。」ではなく、「自分たちでちゃんとやります」と、ひとりひとりが、意識をもち、発言し、行動していかなければ、原発を止める社会にならないと話されました。

私たちには新しい選択肢があることを意識し、出来ることをもっともっと広めて行きましょう。「空気の支配」という同調圧力に負けない強い気持ちを持って！

理事 高澤ますみ

◆◆3・11から始まったこと 講師 京都大学 小出裕章氏 ◆◆

—東京電力福島第一原子力発電所原発震災を生きる私達—

8月5日に行なわれた小出裕章講演会に参加しました。東北大学工学部原子核工学科出身の小出さんは、1970年に女川での反原発集会へ参加し「なぜ都会の仙台に原発を作らず、過疎地の女川に作るのか？」と疑問を持ち、原発をやめさせるために原子力の研究を続けることを決意され、原子力の専門家として危険性を訴えてこられました。

小出さんは、「福島原発事故の本当の被害の大きさは、失われる土地・強いられる被曝・崩壊する第一次産業・崩壊する生活を考えると日本が倒産しても買いきれない被害です。津波や戦争が起きて人々は必ず戻って復興するが、放射能汚染の酷い地域では住めなくなりません。人々の生活する場が、放射能管理区域以上に汚れてしまっています。その世界で生きるしかありません。子どもたちと第一次産業を守りたい。立ちすくみながら、乗り越えていく方策を考えていかねばなりません。何をすれば原発が止められるか？それは、わかりません。ひとりひとりができることを考えて行なうことです。」とわかりやすくお話くださいました。

理事 鈴木智子

あいコープでは、「さよなら原発 1000万人署名」に取り組み、署名用紙を配布しました。

脱原発に向けて、今できることをみんなで広げましょう。

お問い合わせは、あいコープ 0120-255-044 までご連絡ください。

# 生産者つうしん!!

大震災後、宮城県沿岸部を中心に、水産業者や農業生産者の皆さんは大きな被害を受け、ご家族を亡くされた方もおられます。これからの復興に向けて皆さんの力を合わせていきたいと思います。

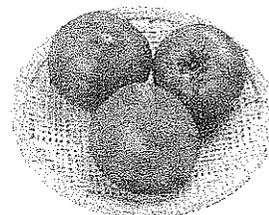
## 迫のBMTマトと3.11大震災

### 迫ナチュラルファーム 自然村

私の作る迫のBMTマトは農薬不使用です。生産は、やや不安定で、ご迷惑もおかけしましたが、ずっと取り組んで参りました。3.11大震災後の今年は第一に欠品は極力しない!ご迷惑はかけられない!と決めて、農薬不使用も農薬を減らしたマトも区別せず、迫のBMTマトでお届けしています。

6月の猛暑と梅雨明け後の低温日照不足、そして東京電力福島第一原発事故。毎日天に向かって叫びたい・吠えたい気分ですが、ぐっと抑えて、いつものように笑顔でお届けしています。

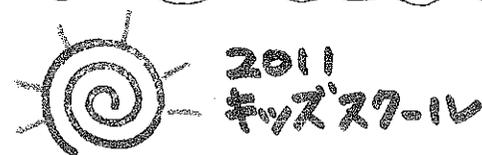
迫ナチュラルファーム 菅原隆一



BMTマト500g



菅原隆一さん



## SUMMER CAMP IN 天童報告



8月6~7日、虫の鳴き声と、木立を抜ける爽やかな風の下、天童高原にてキャンプをしました。受け入れ生産者は天童果菜同好会の皆さん。そして大郷みどり会と、大石田百姓同好会の皆さんが協力して下さり総勢62人となりました。まずは自分たちでテントを張り、「はじめまして」のメンバーで食事作り。キャンプ場に着火すトーチは全て天童の果物の枝!「これは何の枝でしょうか?」のクイズで盛り上がりました。喉の渇きを癒すのに大石田さんからいただいたスイカは、切っても切ってもあっという間に完食。流しそばめんを流した麺は140人分。本当によく食べよく遊びました。星空の下、大人も親睦を深め、別れの時には「千秋歌からわ。」の音が飛びかきました。お世話いただいた生産者の皆さんに感謝いたします。

キッズスクール 担当理事 工藤 恭子